第５回
おかやま環境教育ミーティング
報告書

平成29年度 協働による環境学習推進事業（岡山県）
おかやま環境教育ミーティング実行委員会

第５回 おかやま環境教育ミーティング

●日　時：平成 29 年 8 月 3 日（木）　10:00 ～ 17:00
●会　場：岡山コンベンションセンター　1F イベントホール
●ブース出展：55 団体
●コーディネーター：志賀　誠治　氏（人間科学研究所　所長）
●参加者：179 名（一般参加者 157 名、実行委員・スタッフ　22 名）
　参加者の年代、所属、きっかけは以下のグラフの通りであった。（図 1 ～図 3）

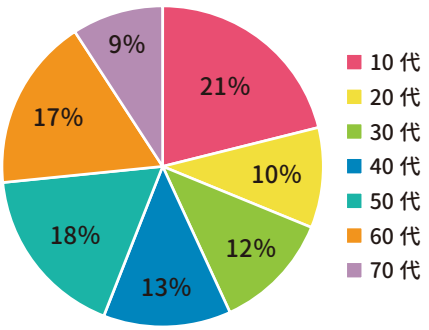


図 1　参加者の年代

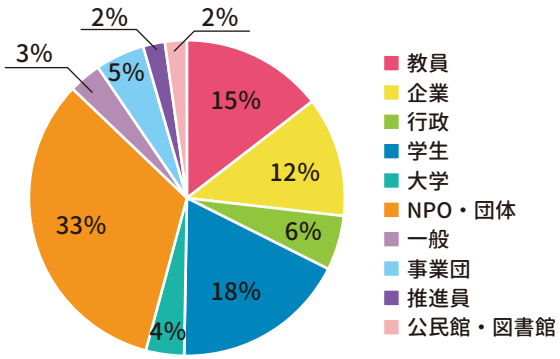


図 2　参加者の所属

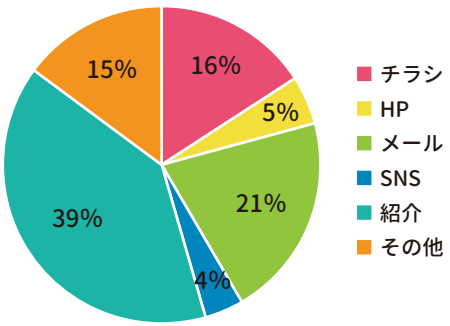


図 3　参加したきっかけ

目 次

< 内容 >　　コーディネーター：志賀　誠治　氏

スケジュール

9：30　受付開始

10：00　開会宣言　・・・

内容

10:00　開会宣言　　おかやま環境教育ミーティング実行委員会　委員長　小桐　登　氏

・今回で 5 回目を迎えるミーティング。
・今回は県内外から 179 名の方からお越しいただいており、過去最高である。
・特にブース出展で学校、企業、環境団体、行政等 55 団体が出展している。
・日本も参加したパリ協定 COP21 の実行に向けてみなさまの関心が高くなっている事とともに、伝えたい、つながりたい、自分たちで何かしたい、そのような想いが現われた結果だと思う。
・昨年の環境教育ミーティングが終了し、実行委員としていろいろなみなさまのお声を拝聴した。
・その中で、今回は昨年までと形式を変え、午前中にブース出展をしてみなさまにつながってもらい、午後からは 10 テーマを設けて分科会を行い、その中でいろいろと話し合ったり深め合ったりという構成にしている。
・これがベストかどうかわからないが、新しい試みとして取り入れた。
・新しい出会い、意見交換、深め合いができればと思っている。
・今日 1 日、環境教育について考え、環境の大切さを知り、お互いが最良の日となるよう努力したい。
・どうぞ一緒に学びたいと思う。

10:05　オリエンテーション　　かんきょうひろばの説明　事務局

・こんなにたくさんの立場の方が、一堂に会して環境教育というキーワードのもと交流することはめったにないことだと思うので、楽しんでいただきたい。
・岡山県が協働による環境学習推進事業を展開しており、環境学習を協働によって推進している。
・それを実施しているものが岡山県環境学習協働推進広場（通称かんきょうひろば）である。
・かんきょうひろばでは持続不可能な社会を持続可能な社会へむけて環境学習というアプローチをもって、行動できる人材を育成するという目的を掲げている。
・大きな目的なので、かんきょうひろばでは行政やアスエコ、環境団体や企業とともに一緒に手を取り合い、知恵を出し合って、まさに協働しながらこの環境学習を推進している。
・かんきょうひろばでは環境学習出前講座で主に岡山県内の小学校へ登録している指導者を派遣し、さまざまな環境学習の出前講座を行っており、現在では一年間に 300 件を超える実施数となっている。
・他にも出前講座を実施する指導者の養成、今回のような交流会、岡山県への事業提案を行っている。
・協働での環境学習推進のため、かんきょうひろばへの参加登録をお願いします。

▲受付の様子

▲司会　湯場副委員長

10:15　おかやまエコスクール表彰式

かんきょうひろば運営委員会　委員長　田中　康敬　氏

・今年のおかやまエコスクール対象校は以下の５校であった。

岡山市立蛍明小学校、岡山市立中山小学校、岡山市立馬屋下小学校
総社市立山手小学校、美咲町立加美小学校

・表彰校を代表して、岡山市立中山小学校の西岡茂樹教頭よりお言葉をいただいた。
「現在中山小学校では ESD 教育及び環境学習に力を入れており、特に環境学習では小学５年生の総合的な学習で中心的に実施している。吉備の中山を守りたいという思いを発展させ、環境について深く考えている。そこでかかせないのが、かんきょうひろばの環境学習出前講座である。他にも吉備の国エコライフ協議会と協働していきながら、毎年活用しており、児童に大変好評である。今後もこれらの環境団体と連携しながら地域及び私たちを取り巻く環境保全に寄与できる児童の育成に励みたい。」

10:30　ブース展示（55 団体が出展）

・自由交流の場としてブース展示を行った。各出展者の活動紹介や実際に体験できるブースもあり、参加者同士がつながる場として大いに盛り上がった。
・また、今年から新たな取り組みとして参加者が会場に向けて PR できる「一人５分のスペシャル PR タイム」を設けた。当日に発表者を募ったところ８名の方に熱い想いを発表していただいた。

出展団体

1）NPO 法人エコネットワーク津山
2）千年の森つくりグループ
3）岡山県森林インストラクター会
4）みずしま財団（公益財団法人　水島地域環境再生財団）
5）stop 温暖化くらしき実行委員会
6）一般社団法人　高梁川流域学校
7）公益財団法人岡山市公園協会　操山公園里山センター
8）NPO・ICOI（国際協力研究所・岡山）
9）岡山西温暖化対策地域協議会
10）電一郎先生
11）認定 NPO 法人おかやまエネルギーの未来を考える会
12）岡山県シェアリングネイチャー協会
13）自然体験リーダーズクラブ
14）岡山理科大学付属高等学校
15）おかやまエコマインドネットワーク
16）子ども防災ネットワークおかやま
17）環境学習センター「アスエコ」
（公益財団法人　岡山県環境保全事業団）
18）エコロジー東備（えことび）
19）プロジェクトワイルド＋岡山
20）旭川源流大学実行委員会
21）NPO 法人環境カウンセラー協会
22）NPO 法人グリーンパートナーおかやま
23）一般社団法人イマココラボ
24）一般社団法人　環境報告研
25）「希望の牧場・ふくしま」ボランティア岡山隊
26）岡山 NPO センター
27）岡山県立水島工業高等学校
28）岡山市立京山中学校
29）岡山市立旭東中学校
30）岡山県立矢掛高等学校
31）YKG すみれ
32）おかやま環境教育ミーティング若手の会（かいわれの会）
33）岡山理科大学　理学部　齊藤研究室
34）岡山大学地域総合研究センター（AGORA）
35）岡山県立津山工業高等学校
36）岡山市立岡山後楽館高等学校
37）岡山県立玉野高等学校
38）岡山大学工学部創造工学センター技術支援部門
39）イオンリテール株式会社
40）あさくち（さとしょう）de eco る課！！
41）東京海上自動火災保険株式会社
42）せとうち花倶楽部
43）明和製紙原料株式会社
44）株式会社サンキョウーエンビックス
45）DOWA エコシステムバイオディーゼル岡山株式会社
46）おひさまエナジーステーション株式会社
47）倉敷木材株式会社（クラモク）
48）株式会社 LIXIL
49）中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター
50）岡山 ESD 推進協議会
51）岡山市環境学習センター「めだかの学校」
52）岡山市立一宮公民館
53）岡山県新エネルギー温暖化対策室
54）岡山市立西大寺公民館
55）岡山市立東山公民館

一人 5 分のスペシャル PR タイムの発表者氏名と発表内容一覧

1	橋本　省吾	希望の牧場の今！ボランティアへ行こう！
2	青山　益夫	限界に来ている地球環境
3	藤原　瑠美子	海、川、山、ごみだらけ。ごみ意識を変えよう
4	熊瀬　徳輝	里山の現状と生き物・植物
5	則武　秀明	今や日本のフロンティアは国内にある
6	播本　博子	もったいないが地球を救う！食品ロス
7	有元　幸康	イオントップバリュ㈱岡山生まれ「フルリ」
8	森廣　義孝	チリメンモンスター研究してます！！

12:45　昼休み

13:00　午後のオリエンテーション

人間科学研究所　所長　志賀　誠治　氏

- 10 個の分科会に分かれ、分科会ごとに意見交換を行い、内容を深めるプログラムになっている。
- 話し合う内容だけではなく話をするプロセスや交流を深めることも大切にした時間にしてほしい。
- 分科会に臨む上で次のような心構えを大切にしてほしい。「Listen（聞く・聴く）」「Open（心を開く）」「Voice（声に出す）」「Enjoy（楽しむ・遊び心）」
- 分科会のあとの全体会では自身が参加した分科会を紹介していただくので、分科会で感じたキーワードを4つ考えておくこと。

13:30　分科会

- それぞれの分科会にはおかやま環境教育ミーティング実行委員とかんきょうひろばの運営委員がファシリテーターもしくは講師として構成されている。
  一方的な講義とならないように参加者同士での意見交換を大切にした。
- 交流型の分科会もあれば、ワークショップやゲームもあり、それぞれで活発な交流が行われ、楽しみながら学び合うことができた。
- 参加者は他者の意見を聞き、自分の意見を発することで、自身の考えを整理して共有する時間となった。

1 森や昔に学ぼう未来の暮らし

ゲスト　國代　健介　氏
（倉敷木材㈱）

ファシリテーター
小桐　登　氏
（一般社団法人
おかやまエコサポーターズ）

2 みんなでつくろう、いい“かんきょう”

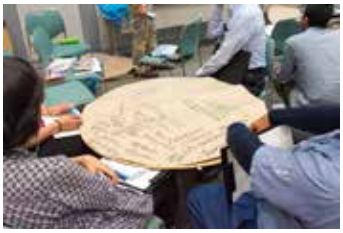
ゲスト　鬼頭　暁史　氏
（岡山市立旭東中学校）

ゲスト　橋本　省吾　氏
（「希望の牧場・ふくしま」
ボランティア岡山隊）

ファシリテーター
竹島　潤　氏
（NPO法人ICOI、岡山市立旭東中学校）

3 ごみ処理施設からESD！ ～見るだけから学びの施設へ～

ファシリテーター
中平　徹也　氏
（津山圏域クリーンセンター
リサイクルプラザ）



4 水辺教室ステップアップ研究会

ゲスト　柏　雄介　氏
（岡山淡水魚研究会）

ゲスト　田中　道明　氏
（岡山淡水魚研究会）

ファシリテーター
田中　康敬　氏
（自然体験リーダーズクラブ）

5 新しい学びを創る～公害と環境教育～

ゲスト 塩飽　敏史　氏
（みずしま財団）

ファシリテーター
西村　仁志　氏
（広島修道大学教授）

6 環境教育で地域の担い手を育てよう

ゲスト 播本　博子　氏
（エコロジー東備）

ファシリテーター
江國　友哉　氏
（NPO法人ICOI、岡山市立旭東中学校）

7 改めて考えよう「もったいない！」の心 ～食品ロスを減らす生活を～

ファシリテーター
赤井　藤子　氏
（おかやまエコマインドネットワーク）

8 カードゲーム「2030SDGs」を通して 2030年の社会を体感する

ゲスト 鈴木　宏和　氏
（一般社団法人イマココラボ）

ファシリテーター
友延　栄一　氏
（岡山市 ESD 推進課）

9 「紙はごみじゃない！」を職場にも

ファシリテーター
湯場　俊一　氏
（明和製紙原料株式会社）

10 家庭菜園から考える持続可能な社会 ～家庭菜園初心者の私～

ファシリテーター
谷口　瑞穂　氏
（環境学習センター「アスエコ」）

15:30　移動・休憩

15:45　全体会・ふりかえり

人間科学研究所　所長　志賀　誠治　氏

・異なる分科会同士で４人一組のグループをつくった。
・自分が参加した分科会についてキーワードを４つ書き、
　そのキーワードを説明しながら各自が参加した分科会を紹介し合った。
・その後、１日のふりかえりとして以下の設問に対してキーワードを書き、
　グループ内で意見交換することで１日の学びや気づき、想いについて一人一人整理し共有した。
・さらに自ら発表したい方やグループ内での他薦により、書いたキーワードとその想いを会場全体に向けて
　意見を共有した。高校生や大学生などの若い世代の発表が多く、その場が非常に活性化した。

Q1. 改めて環境教育で大事だと思ったことは？

・他の人の活動を知ることで新たにできるものもある
・トレンドや別の視点もチェックしていきたい
・「次どうする？」を考えること、考えてもらうことが大切
・助け合うこと、一人では何もできない
・まず聞く、人の意見を尊重

Q2. 持続可能な社会をつくるポイントは？

・信じる！
・まず現状を知ること
・目標を決めたら押し通していく熱意
・支え合っていくこと

Q3. 現場に帰って何から始めますか？

・活動している知り合いの手伝い
・自分たちの意見を話し合う
・世界の現状を調べる
・学校に帰って今日のことを伝える。同年代でも話しあってみる

16:45　閉会挨拶

岡山県環境文化部　新エネルギー・温暖化対策室
室長　高田　哲也　氏

・各ブース、各分科会で、それぞれ実り多い体験をされたと思う。
　ここで得たつながりや見識を活かし、今後の各々の活動に役立てて
　いただくとともに、周囲へ伝播させてほしい。

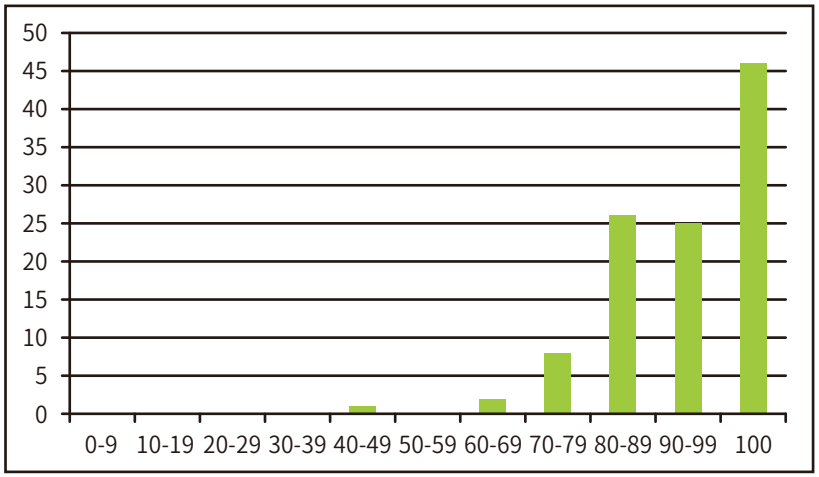
アンケート結果（回収 110 人 /179 人）

Q．本ミーティングに参加された目的や期待することを教えてください。

【コメント（一部抜粋）】
・環境教育の重要性や内容について考える
・幅広い団体の活動内容、考え方など知り、学ぶため
・持続可能な社会づくりの仲間増やし
・研究内容を知っていただく
・他団体の活動から一緒に活動出来きる団体を探したい、出会いたい
・自分たちのやっていることを知ってもらうことと他の様々な取り組みについて知る
・学校での取り組みをしってもらうこと、NPO や企業・行政の方とのつながりを深めること
・環境についての知識を身につけ、拡がる
・出会い・つながり・発見
・ESD に関わっている方々の考え方を知ること
・自団体以外の方との交流、情報交換
・ESD について自分で実践に生かせられることはなにか

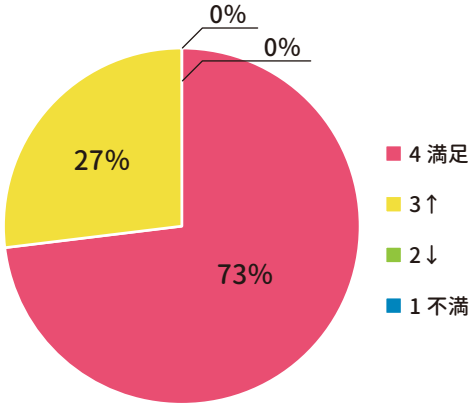
Q．本ミーティングの内容は、あなたの目的や期待を 100 点とした場合、何点でしたか？また、その理由を教えてください。

・参加者の大部分の方から 80 点以上の評価をいただいた。（平均 89.7 点）



【理由（一部抜粋）】
・様々な環境教育にかかわる方々と話ができ刺激になり、今後の活動に役立つように思う
・再会や出会いがあり、楽しかった
・今後のためのでっかい元気をもらいました！
・色んな世代の意見が聞けて、いろいろな考え方を持てるようになりました
・たくさんの方のいろいろな意見が聴けて良かった
・様々な種類のブースがあり、自分たちのブースに来て下さった方々ともたくさんの意見交換ができた
・予想以上に楽しくてびっくりしました。200 点！
・分科会がとてもよかったです
・アスエコ出前講座利用の小学校含む県内の小学校の参加が少なかった
・ESD 以外にも、ブースを回ってみて意外な話を聞き、本当にいろいろな分野から地球を考えている人たちがいて話を聞けてとても楽しかった。実験についても意見を聞き、わからなかったことも聞けて良かった
・講演会なしのブース展示＆分科会については、自分が会いたいひとに直接会い、聞きたい話を個別に聞ける喜びがあり、とても今までにない形で、斬新で良かったです

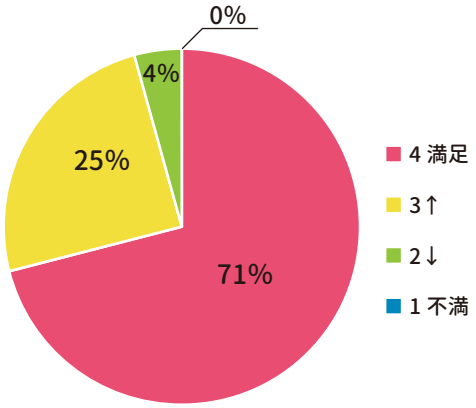
Q．ブース展示について感想をご記入ください。



ブース展示の満足度（回答数 104）

【感想（一部抜粋）】
・いろんな人がいてたくさんの知識をとりいれることができた
・色々な世代の人と交流出来てよかった
・多くの方が見に来て下さってよかった。体験をふまえた
　ブース展示も多く、すごく楽しめたし新しく知ることもできた
・多くの人と交流ができ勉強になった
・アイディアがいっぱいで目をひく展示だった
・ブース展示はたくさんあってよかった。もう少し詳しく聞きたいが時間が足りなかった
・いろんな方の思いを聞くことができてよかったです。高校生と直接話しができたのもよかったです
・以前より広がりを感じる。若い人も多く、また、地元地域に根ざしている人々が多くてよかった
・相互に話しやすい雰囲気だったので、話したい人と十分に話すことができた
・さまざまなジャンルのさまざまな活動が知れてよかった！もっとたくさんの話が聞きたかった
・同じような活動をしている人と知り合いになれてよかった

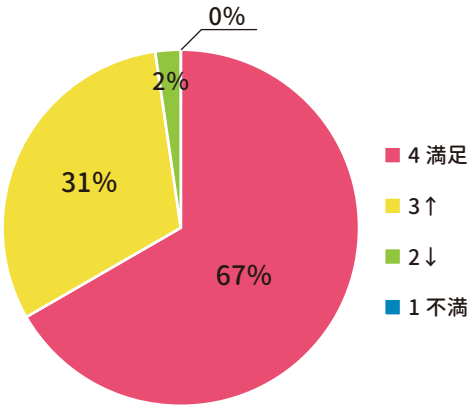
Q. 分科会について感想をご記入ください。



分科会の満足度（回答数 93）

【感想（一部抜粋）】
・学生さんが多く、純粋な意見がきけてよい刺激となりました
・さまざまな取り組みを知ることができてよかった。
　環境教育により関心が沸き、大事なことも多く学べた
・みんなの意見が聞くことができ、本当にたのしかった
・若い世代の熱い想いに感謝！感激！
・充実した内容でとても良い分科会でした
・色々な年代、分野の方の話が聞くことができ、とても勉強になりました
・熱のこもった発言が続いたので、知らぬ間に時間が過ぎた
・他団体での具体例をしることができ、参考になったと共に意識がかわった
・私たちの活動と参加した分科会のテーマが違ったのでどうかなと思ったが共通することばかりで参加できてよかったです
・グループの雰囲気も良く、とてもとても楽しく学ぶことが出来ました。自分にできることを少しずつしていきたいです
・みなさんと協力して経済、環境、社会について考えられたのでよかった
・すごく話しやすい雰囲気を創ることができ、リラックスして話し合いができたと思う
・楽しかったですが、もっと深い話まで出来そうな予感がしました

Q．全体会について感想をご記入ください。

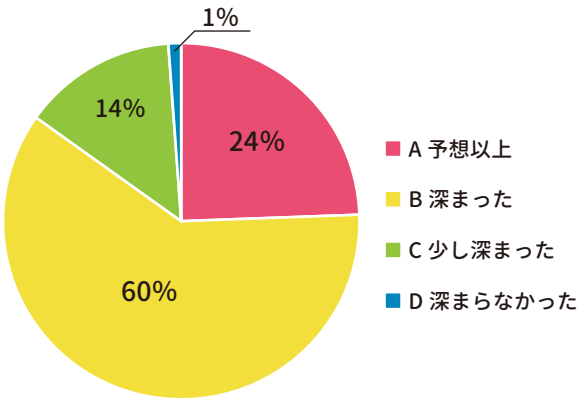


全体会の満足度（回答数 87）

【感想（一部抜粋）】
・いろいろな分野について考えることができた
・大人の人たちと話すことができたので勉強になりました
・様々な世代の話がきけてよかった
・わきあいあいとした空間が良かったと思いました
・楽しく”振り返り”ができ、今後にパワーを頂きました。
　ありがとうございます
・たくさんの若い方々の意見も聞けてよかったです
・異なる分科会でのようすもわかるような工夫がありよかった
・グループで話し合えてよかった。全体での共有もとてもためになった
・すごく楽しかった！和やかな雰囲気の中でお互い自分の思っている事たくさん言えてすごーくよかった！！！
・紙にキーワードを書くことで、自分の考えがまとまり、また、他の方の考えも分かり易かったと思います。
　高校生の方の発言を全体で喜べたことがとてもよかったです
・他の人の意見や想いの伝え方が情報交換以上に勉強になった
・他の人とよい分かち合いができました。感動しました
・良かったです。他の会で話したことをもっと 10 個すべて聞きたかったです

Q．本ミーティングで、環境教育や自分の活動における持続可能な社会とのつながりについて理解がふかまりましたか？その理由を教えてください。

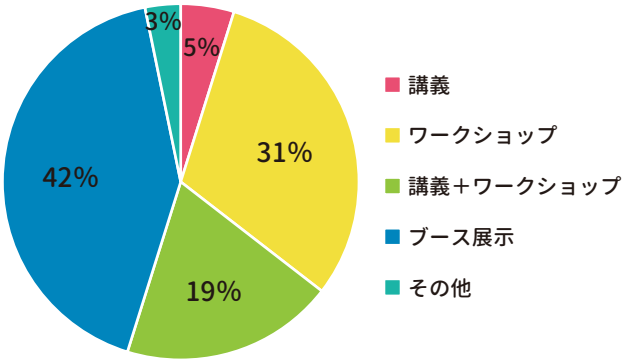
【理由（一部抜粋）】
・僕はリサイクルすることで持続可能な社会が実現すると思っていたが、他の人の意見をきき、考えが深まった
・自分たちが行動を起こせば、周りが協力するということが感じられた
・なぜそうなるのか、そうすべきなのか、次に行動に移すための考え方がわかった
・現状では持続可能でない、という事を知りました。また、同志が多いことも知りました
・自分の考え方だけでなく、他の方々の視点や思いをしることができた
・活動する上で意味などが学べ、今後につながる内容でした
・環境についても、こんなにも選択肢があるのだなと気づくことができてよかったです
・何より現場の話を直接聞けて、元気いっぱいいただきました
・毎年参加しているので、もう深まらないだろうと思っていたが、
　いろいろ刺激はあるものだな、と改めて感じた
・持続可能な社会という言葉が一人歩きしている感じがする。
　そもそもなぜ必要かの話が意外と少ない
・ESD についてよくわからなかったけど、いろいろな方の
　話を聞くと、そういうことか！となることが多かった
・いろいろな分野からアプローチしている人の話が聞けて、
　理解が深まったし、視野が広がった



環境教育や自分の活動における持続可能な社会とのつながりについての理解度（回答数 86）

Q．次回開催時の進め方について、どの進め方を希望されますか？また、今後ワークショップや分科会で扱ってほしいテーマなどがございましたらご記入ください。

【テーマ（一部抜粋）】
・科学的進歩と持続可能社会の共生について
・SDGs× 地域の環境学習
・ESD、環境教育の実践的なこと、
　授業ですぐ使えるネタなどあればありがたい
・環境行政について
・今回と同じような形がよい
・水辺教室のもち方、深め方



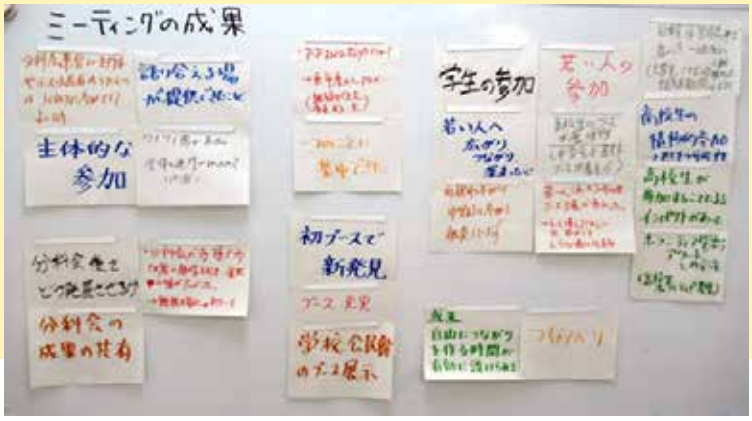
どんな内容や方針を希望されますか？（回答数 106）

Q．本ミーティングをよりよくするために、ご意見やご要望など、どんな細かいことでもお聞かせください。

【一部抜粋】
・若い高校生大学生たちに今回の参加をすすめて先生方のご協力に感謝
・今回の環境教育ミーティングの流れは大変良かった。ブース展示の後の分科会で、ゆっくりのぞむことができた
・自然のふれあいから地球環境問題の解決まで様々なレベルの取り組みをこれからもお願いします
・とても楽しかったです
・SDGs について引きつづきお願いします
・ボランティア、NPO、企業、大学が垣根無くブースを出されていて大変興味深かったです。ありがとうございました
・いろいろな形での取り組みがあってとてもよいと思う
・いろいろ学べました。有意義な時間でした

まとめ

・本ミーティングは、過去最高の参加者数及びブース出展数となった。
・ブース展示、分科会、全体会におけるアンケート結果は非常に高く、参加者にとって有意義な交流の時間と場を提供できたと推測される。
・今回は、前年度までと構成を変えて、分科会を主軸に参加者同士が語り合い学び合える場の創出を重要視してきた。そのことが評価され参加者の高い満足度に繋がったのではないかと考える。
・また、全体を通して高校生や大学生の若い世代の積極的な姿勢に、上の世代も刺激を受けて活性化され、より良い交流のサイクルが生まれていたように思う。次回以降、毎回多く参加してくれている若い世代がもっと活躍して実りのある体験ができるような取り組みを実施していければと思う。
・なお後日、おかやま環境教育ミーティング実行委員会でふりかえりと次回に向けての協議を行い、反省点も多々ある中で、今回得られた成果をまとめた。



【実行委員会でのふりかえり】

開催までのスケジュール＆実施プロセス

■実行委員会等開催スケジュール

2 月 7 日（火）17：00-19：00
　　実行委員会キックオフ（企画概要の検討）
4 月 11 日（火）17：00-19：30
　　第 1 回実行委員会（委員長の選出、企画概要の確認、広報活動の検討）
4 月 20 日（木）
　　開催案内について広報・参加者募集開始
5 月 2 日（火）18：30-19：45
　　分科会担当者相談会（分科会のテーマ決定）
5 月中旬　　県内の学校へ「開催の事前案内」を送付
5 月 15 日（月）17：00-19：00
　　第 2 回実行委員会（進捗状況の確認、当日のスケジュール・役割分担の確認）
6 月 12 日（月）内容の詳細について広報開始
7 月 4 日（火）17：00-19：00
　　第 3 回実行委員会（申込状況の報告、その他詳細事項について最終確認）
8 月 3 日（木）10：00-17：00
　　第 4 回岡山県環境教育ミーティングの開催
8 月 21 日（月）17：00-19：00
　　第 5 回実行委員会（ミーティングのふりかえり、次回の開催に向けて）

■実行委員会メンバー

環境団体　2 名
NPO　　2 名
民間企業　1 名
公益財団　1 名
行政　　2 名（岡山県新エネルギー・温暖化対策室 1 名、岡山市 ESD 推進課　1 名）
学校関係　6 名（小学校教員 1 名、中学校教員 2 名、高校教員 2 名、教育委員会 1 名）
事務局　　3 名（環境学習センター「アスエコ」3 名）

環境教育の輪はますます広がります！
to be continued...